

北海道の印刷

2

第813号

2024年2月10日 発行



北海道遺産

ピアソン記念館

(北見市)

北見の精神文化を育んだ三柏の丘

アメリカ人宣教師G.P.ピアソン夫妻の私邸として1914（大正3）年に建てられた。夫妻は道内各地を伝道し、その終着に選んだ地がアイヌ語で「地の果て」を意味する野付牛（現在の北見）。廃娯運動や慈善活動など、夫妻の志は今も北見の精神文化のよりどころとして多くの市民に親しまれている。設計者は近江兄弟社創設者としても知られているW.M.ヴォーリス。

（北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisn.org/> より引用）

INDEX

3 令和5年度第5回理事会開催される

4~7 北海道印刷関連業協議会令和6年新年交礼会開催される

8 令和5年度下期北海道地区印刷協議会のご案内

9 中小企業経営強化税制のご案内

10 次期理事長推薦委員会開催される

10 旭川印刷製本工業協同組合が旭川市に「あさっぴーおりがみメモ帳」を寄贈

10 業界のうごき

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp

P-00023

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

下期北海道地区印刷協議会の運営方法を決定

令和5年度第5回理事会

令和5年度第5回理事会が、1月10日午後1時15分から札幌市中央区の札幌グランドホテルで理事13人が出席して開催され、令和5年度第4四半期事業スケジュール・下期北海道地区印刷協議会の運営方法などを決定した。

理 事は、定数報告が行われ、岸理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として、

- (1)事業実施状況について、10月の第4回理事会以降の活動状況の説明が行われた。
- (2)財務状況について、第3四半期（12月末）の貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況の説明が行われた。
- (3)令和6年度賦課金決定のための売上高報告調査の実施について、1月20日に調査票を送付し、2月5日を報告期限として調査を行うことが説明され、調査票提出への協力要請が行われた。
- (4)令和5年度被表彰者について、全日本印刷工業組合連合会組合功労者顕彰を山田新一氏、全日本印刷工業組合連合会優良従業員表彰を2社4人、北海道印刷工業組合永年勤続優良従業員表彰30年勤続を1社2人、同20年勤続を2社4人、同10年勤続を4社9人の方々それぞれ受賞したことが報告された。

次に、議事に移り、

- (1)令和5年度第4四半期事業スケジュールについて、組織の拡大、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討を柱とした、それぞれの実施事業の内容・スケジュール等が説明され、決定された。

- (2)令和5年度下期北海道地区印刷協議会を、下記により開催することを決定した。

日時／令和6年2月22日(木)

- 13:00～13:50 第6回理事会
- 14:00～15:00 全体会議
- 15:10～16:10 分科会（委員会）
- 16:15～17:00 総括会議
- 17:10～18:40 情報交流会（懇親会）

会場／札幌パークホテル

- (3)委員会の活動状況について、各担当委員長から活動状況が説明された。

○経営革新マーケティング委員会（岡部副理事長）

全印工連の委員会が12月14日、東京で開催された。当委員会はセミナーを開催している。11月にDXのセミナーを開催した。事業領域の拡大に関するセミナーが開催され北海道から2社が視聴した。事



業承継支援センターについて契約が23件、問い合わせが123件となっている。引き続き周知を図っていく。マーケティング支援事業は異業種の方を講師にセミナーを行っている。2月21日に事業承継セミナーがwebで開催される。

○教育研修委員会（矢吹委員長）

全印工連の委員会が11月21日、佐賀で開催された。印力レラーニングは北海道から4社6人の受講申し込みがあった。印刷営業講習がオンラインで開催されるので参加してほしい。講習は4日間20時間を受講する。技能審査の試験だけは東京に行って受けなければならない。

○環境労務委員会（大和副理事長）

全印工連の委員会が11月10日、東京で開催された。労務関係で最低賃金の改定で年収130万円の壁があり労働時間が制限されることが起きている。これの補填制度が国で用意されているが内容が面倒なので厚労省のHPを参考にしてほしい。

○青年部委員会（齊藤委員長）

正副議長会議が12月9日、香川で開催された。2月3日に開催される全国協議会について協議した。儲かりリノベーションに成功した異業種3社のパネルディスカッションと副議長2社の儲かりリノベーションの事例発表を行う。北海道からは北印工組2人、札幌青年印刷人の会3人の5人が参加する。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況および各社の近況についての情報交換が行われ、理事会を終了した。

積極的な事業参加が 持続的な発展・繁栄のための糧

北海道印刷関連業協議会令和6年新年交礼会

北海道印刷関連業協議会は、令和6年新年交礼会を、1月10日午後5時から札幌市中央区の札幌グランドホテルで、来賓、印刷、関連業者約150人が出席して、4年ぶりに本来の形式で、参加者が自由に交流・賀詞交換を行なった。



岸 昌洋氏

最初に、岸昌洋北海道印刷関連業協議会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、新年早々に起こった能登半島地震および羽田空港での航空機事故で犠牲となられた方々にお悔やみと、被災

された皆さん、事故に遭われた皆さんへお見舞いを申し上げ、「3年間にわたるコロナ禍による社会経済活動の停滞感が薄れつつあり、明るい兆しが見え始めてきている。反面、コロナ禍は中小印刷業に限らず、世の中の様相を大きく変えてしまったことも事実である。当協議会は、このような状況を意識しながら、会員の皆さんの繁栄と永続のため、各種事業に積極的に取り組んでいる。昨年9月には、HOPE2023を4年ぶりにコロナ感染防止の制限を加えることなく、従来のかたちで、出展者と来場者がコミュニケーションを図れるよう開催し、各社が新たな価値を見出し、新しい形のビジネスを展開し、発展を続ける機会となる場を提供することができた。コロナ禍を転機に働き方の変化が加速するとともに、DXの進展により、社会において情報の多様化が進んでいる。この変化のなかで、文化と情報コミュニケーションの担い手である印刷産業の果たす役割と責任はさらに重要となり、社会や人々から求められる期待も日増しに大きくなっている。これを踏まえ、本日は生成AIと印刷業の関わり方・



方向性を探る研修会を行い、各企業の理解を深め、今後一層社会の要求に応えられるよう邁進していく。昨年度から続く国際社会情勢による世界的な食料・エネルギー不足の常態化に加え、急激な円安に伴う物価上昇により、印刷産業にとっても資材・エネルギー・物流価格等の値上がりが続く、経営は極めて厳しい状況にある。これらの上昇分を製品価格に転嫁し、適正取引を進めることが急務であり、業界を挙げての運動を今後も続けていく。これらさまざまな事業を会員の皆さんに知っていただき、利用していただくことによってメリットが享受できることになる。ぜひ一人でも多くの皆さんに各事業に積極的に参加いただき、情報を共有され、メリットを享受し、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたい。本年が平穏であり、明るく輝かしい飛躍の年となることを願い、

関係諸官庁、各機関・団体をはじめ、関連業界ならびに会員の皆さんの一層の理解と支援を申し上げ、新しい年が皆さんにとってより良い実り多い年となることを祈念する」と新年のあいさつを述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、来賓を代表して3人から祝辞が述べられた。



酒井哲也 氏

岩永正嗣経済産業省北海道経済産業局長の代理として出席した、酒井哲也地域経済部次長は、「1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに被害に遭われた全ての方々にお見舞いを申し上げます。北海道と同じ積雪寒冷地であり、歴史的にも繋がりが深い北陸地域で、大災害が発生したことに心を痛み、日頃の備えの必要性、重要性を改めて実感された方も多かったのではないかと思います。経済産業省では地震の発生以降、電気・ガスなどのライフラインの早期復旧や暖房器具・灯油などの必要物資の緊急支援などに緊張感を持って取り組んできました。今後も被災地の復旧復興に向けた支援に全力を挙げて取り組んで行く。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行するとともに株価や賃上げ、設備投資などの経済指標には軒並み30年ぶりという枕言葉が付く高水準を記録するなど、明るい兆しが見られた。しかしながら、不安定な国際情勢による物価の高騰、エネルギー価格の高騰、構造的な人手不足の問題などで、中小企業の皆さんには引き続き厳しい側面もあった一年であったと推察する。経済産業省では見え始めた明るい兆しを確かな成長へとつなげていくために、昨年末に成立した補正予算を早期に執行していく。それにより足元の危機や課題に対応していくとともに国内投資の促進、イノベーションの加速、国民所得の向上という3つの好循環



環を実現していくことを目指している。印刷業界では、ペーパーレス化やデジタル化などの進展のほか、情報メディアの多様化やコロナ禍による需要の変容といった環境変化に直面されている。そうしたなかで、業界団体の指導により、DX推進のためのプラットフォームであるDX-PLATの展開やデジタルスキル向上のための教育動画サイト印カレの運営など、さまざまな意欲的な取り組みが進められている。本年はそれらの取り組みが大きく実を結び業界内における連携や協業、各社における新たなビジネス展開、経営基盤の強化などが大きく進展されることを期待する。北海道経済産業局としても、皆さんが取り組まれるデジタル技術の導入による生産性の向上や企業の高付加価値化、収益向上のための見通し、そして適切な価格転嫁の推進などの取り組みを全力で応援していく」と述べた。



中島俊明 氏

鈴木直道北海道知事の代理として出席した、中島俊明経済部長は、「先ほど来、話がある1月1日の能登半島地震、2日の航空機事故と北海道にも深く関連する大きな災害・事故が年のスタートであった。

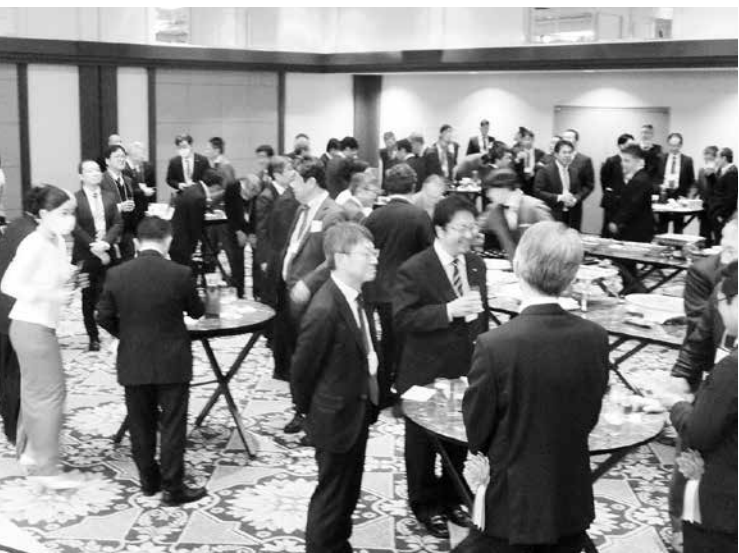
亡くなられた方々には心よりお悔やみ申し上げるとともに被災された方々、被害に遭われた方々に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。震災の関係では、我々北海道は、今回は輪島市を中心に支援をすることになり、医療チームの派遣、避難所の運営支援の職員を含めて25名以上の職員を既に派遣して、現地で業務に携わっている。こうした災害・事故は、他人事ではなく、北海道においても、いつ同じようなことが起こるか分からない。今回は、たまたま石川県あるいは羽田ということである。今回、我々は被災地に寄り添った支援をさせていただく。引き続き、道民の皆さんの命と暮らしを守るのが我々のミッションであるのでしっかり備えていく。昨年は、コロナが5類に移行して、社会経済活動がまあまあ活化した。事業者の方々を取り巻く経営環境は原材料高、エネルギー高など非常に厳しい環境にあった。一方で、ラピダスやソフトバンクのデータセンターなど、北海道の将来を明るくしてくれるような話題もあった。本年においても、引き続き、この物価高、エネルギー高が続いているので、事業者の方々がしっかり事業継続を図って行けるよう我々としてもしっかり支えていきたい。併せて将来の経済の活性化に繋がるような芽をしっかり育てていきたい。印刷業においては、日々いろいろな技術革新のなかで、生き残りをかけて、事業を続けられており、あらゆる産業のベースとして必要な業種である。さらに文化の継承、地域における情報発信など印刷関連の仕事は非常に重要な役割を担っている。これまで長年にわたって、業界として蓄積されたノウハウ、技術がある。こうしたものをしっかり活かして社会経済に貢献していただきたい」と述べた。



一橋 基氏

秋元克広札幌市長の代理として出席した、一橋基経済観光局長は、「年頭の震災の被害に遭われて亡くなられた方々への心よりお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々への心よりお見舞いを申し上げます。年頭、

職場でも、仙台や北海道での大地震のことを皆で思い返して、これからの被災地を思い、できる限りの支援ということを私たちとしても行っていきたい。印刷業は、札幌市の製造業では、食品製造業に次ぎ製造品の出荷額、従業員の数が2番目ということで、札幌市の主要な産業の一つである。人々の文化・教養を広げ、暮らしを豊かにする重要な産業ということで認識をしている。これからも、技術の研鑽や生産性の向上を進め、さらなる素晴らしい商品サービスを提供いただき、札幌市の産業発展に協力をお願いしたい。昨年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行して、社会経済活動がようやく正常化してきたが、長引くエネルギー・原材料・物価高騰は、皆さんの事業活動に大変大きな影響をおよぼしている。さらに企業を取り巻く環境は大きな変化を求められており、脱炭素化、DXの推進ということが社会活動全般の課題となっている。目まぐるしく社会情勢が変化するなか、情報を伝えるという大きな役割を担う印刷業は、この先、DX化を通じ、紙とデジタルの相互作用による新たなビジネスの創出など、情報関連産業としての印刷業の可能性を高め、さらなる発展とつながることを期待している。札幌市では、昨年からの製造業における女性の就職を推進するための職場環境作りに対する助成制度、人手不足を解消するための省力化に資する機器導入への支援など、人材確保と省力化による生



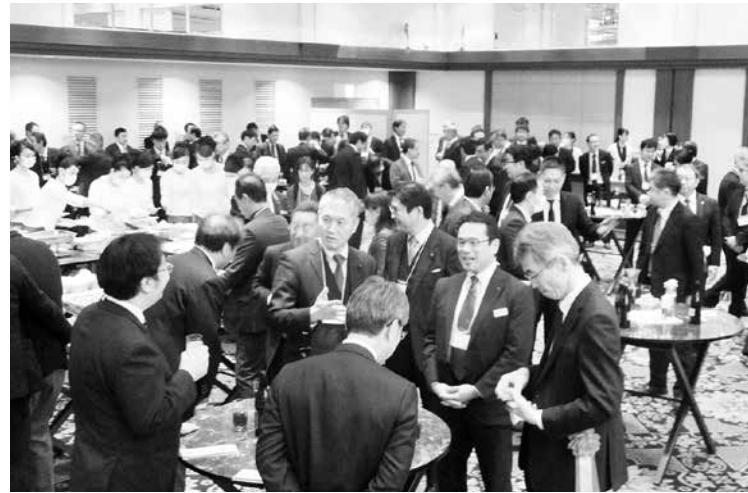
産性向上を図るための取り組みを実施している。このほかにもエネルギー価格の高騰などさまざまな課題に対して、事業者の皆さんの活動を下支えするべく引き続き取り組んでいく。本年もさまざまな場面で印刷業界の皆さんと連携をして、経済の活性化を進めていきたいので、引き続き協力をお願いする」と述べた。



松浦 豊 氏

次に、乾杯に移り、尾池一仁北海道中小企業団体中央会長の代理として出席した、松浦豊専務理事は、「正月早々から自然災害、そして航空機事故、さらに火事なども多発し、大雪もあるといったかたち

で、少し重苦しい雰囲気の中での新しい年の幕開けとなったが、本日このようにたくさんの方の参集の下で、北海道印刷関連業協議会の新年交礼会が開催されたことを心からお祝いを申し上げる。印刷という言葉をと聞くと、今年は、個人的には新紙幣を連想する。7月に新紙幣が発行されるが、1万円札は渋沢栄一氏である。渋沢栄一氏は、過去にも候補になったことがあるが、ただ、その時には髭があった方が複雑で偽造されにくいだろうということで実現しなかったらしいが、現代今日においては、印刷技術が格段に進歩してそういったことを克服して新しい紙幣が発行されるということに至ったようである。そういった新しいことがあるなかで、今年は辰年である。辰年は十二支の中で最も日経平均株価が上昇する年だそうである。今



日もバブル後の最高値を更新したということで、こういった勢いが、景気や道内経済を上向きに導いてほしいと思う。北海道印刷関連業協議会の今後ますますの発展と本日参加の皆さんの健勝・活躍を祈念する」と述べ、乾杯が行われ、新年の宴が開宴した。

各方面から寄せられた多数の祝電が披露され、暫くの間、賀詞交換と歓談が行われた。



石田雅巳 氏

石田雅巳北海道印刷関連業協議会副会長（北海道製本工業組合理事長）が登壇し、「年明け早々に大きな災害、事故が連発して、手放しで喜べる状況ではないが、今日、一年の初めに皆さんの元気な

顔を拝見できたのが凄く嬉しい。来賓の皆さんには時節柄ご多用中出席を賜りお礼申し上げます。世界中で分断という、この世の中であるが、今日のこの雰囲気を見ていて、この会場にいる方々は、皆、印刷関連業として目的・志を一つにした仲間と感じた。皆さんの力を合わせていけば、きっと新しい何かが生まれるのではないかなと期待を抱かせる。一人一人の力は微力かもしれないが、その少しずつの力を結集して業界を盛り上げていこう。昨年の漢字は『税』であった。税の『のぎ偏』を、『りっしん偏』に変えれば『悦』に変わる。りっしん偏は心を意味する。今年が、皆さん、心と心を合わせて、喜びに溢れた良い一年だったと、一年後もこの会で皆さんと会った時に喜びを分かち合えるような、なおかつ笑顔で税金をきちんと納める、幸せな一年にしたいと祈念する。今年は波乱のスタートであったが、皆さんが健康で過ごしていただきたい」と述べ、一丁締めを行い、令和6年新年交礼会を閉会した。



令和5年度下期北海道地区印刷協議会のご案内

北海道印刷工業組合は、令和5年度下期北海道地区印刷協議会を開催する

組 合員へ事業のより詳細な紹介、濃密な情報の伝達等を目的に、北海道地区印刷協議会では、組合員と双方向の情報交流を行っている。

そのために、組織共済、経営革新マーケティング、教育研修、環境労務、青年部の5委員会活動を北海道地区印刷協議会において実施している。

組合員ならびに賛助会員の皆さんには、北海道地

区印刷協議会においていずれかの委員会に参加いただき、対面式で活発なディスカッションを行っていただき、企業経営の永続・発展のための情報を共有していただくこととしている。

組合に加入しているメリットは、組合の事業に積極的に参加し、利用することから生まれてくる。

記

1. 日 時 令和6年2月22日(木) 14:00～18:40
2. 会 場 札幌パークホテル（札幌市中央区南10条西3丁目 TEL.011-511-3131）
3. スケジュール
 - 14:00～15:00 全体会議
 - ①理事長あいさつ
北海道印刷工業組合理事長 岸 昌洋
 - ②全印工連あいさつ
全日本印刷工業組合連合会会長 滝澤光正 氏
 - ③全印工連事業概況説明
全日本印刷工業組合連合会専務理事 池尻淳一 氏
 - ④令和6年度運営組織機構（案）について
全日本印刷工業組合連合会会長 滝澤光正 氏
 - 15:10～16:10 分科会（委員会）
 - ①組織共済委員会 ②経営革新マーケティング委員会
 - ③教育研修委員会 ④環境労務委員会 ⑤青年部委員会
 - 16:15～17:00 総括会議
 - ①分科会（委員会）協議内容発表 ②理事長総括 ③全印工連総括
 - 17:10～18:40 情報交流会（懇親会）

中小企業経営強化税制のご案内

設備投資に対する法人税特例を使いたい

中小企業経営強化税制

経営力向上計画

検索

中小企業が新規に設備を取得した場合、「即時償却または税額控除」の適用を受けることができます。

【事業スキーム】

国
(事業分野別の主務大臣)



経営力向上計画

特定事業者等
(中小企業・小規模事業者
中堅企業)

【支援措置】

- ▶生産性を高めるための設備を取得した場合、中小企業経営強化税制（即時償却等）により税制面から支援
- ▶計画に基づく事業に必要な資金繰りを支援（融資・信用保証等）
- ▶認定事業者に対する補助金における優先採択
- ▶他社から事業承継等を行った場合、不動産の権利移転に係る登録免許税・不動産取得税を軽減および準備金の積立（損金算入）による法人税の軽減
- ▶業法上の許認可の承継を可能にする等の法的支援



経営革新等支援機関

例・商工会議所・商工会・中央会
・地域金融機関
・土業等の専門家 等

【中小企業経営強化税制の要件】

項 目	【A類型】 生産性向上設備	【B類型】 収益力強化設備	【C類型】 デジタル化設備	【D類型】 経営資源集約化設備
対 象 者	経営力向上計画の認定を受けた青色申告書を提出する中小企業者等（資本金1億円以下）			
対 象 設 備	機械装置、工具、器具備品、建物附属設備、ソフトウェア（最低取得価額、販売開始時期の要件有）			
支 援 措 置	法人税 ※1について、即時償却または取得価額の10% ※2の税額控除 （※1 個人事業主の場合には所得税） （※2 資本金3,000万円超1億円以下の法人の場合は7%）			
期 間	令和7年3月31日までに新規取得し、指定事業の用に供した設備			
要 件	以下2つの要件を満たす設備 ①一定期間内に販売されたモデル ②経営力向上に資する指標（生産効率等）が旧モデル比年平均1%以上向上している設備	投資利益率が年平均5%以上の投資計画に係る設備	遠隔操作、可視化、自動制御化のいずれかを可能にする設備	修正ROAまたは有形固定資産回転率が一定割合以上の投資計画に係る設備
必 要 な 手 続 き	設備を生産した機器メーカー等から工業会等が発行した証明書を受領し、経営力向上計画の認定を受ける	経産局へ申請の上、投資計画の確認書を受領し、経営力向上計画の認定を受ける		

北海道経済産業局窓口

産業部 中小企業課 TEL：011-709-2311（内線2574）
E-mail：bzl-hokkaido-keieiryoku@meti.go.jp

次期理事長候補者に岸昌洋氏（現理事長）の推薦を決定

令 和5年度次期理事長推薦委員会が、1月10日午後12時30分から札幌市中央区の札幌グランドホテルで委員8人が出席して開催され、満場一致で現理事長の岸昌洋氏を次期理事長候補者として推薦することを決定した。

なお、今後の手続きとしては、5月開催予定の令和6年度通常総会において役員選挙を行い、その後、理事会において、推薦委員会の経過ならびに候補者を推薦し、理事長を選出することになる。



旭川印刷製本工業協同組合が 旭川市に「あさっぴー折り紙メモ帳」を寄贈

旭 川印刷製本工業協同組合（植平有治理事長／旭川市7条通23丁目左1号）は、旭川市に折り紙としても利用できるメモ帳「あさっぴー折り紙メモ帳」9,286冊（180万円相当）を寄贈し、旭川市内全小学校51校の1～4年生の児童に贈られた。

同メモ帳は、さまざまな物が電子化され、子どもたちの遊びも変化する昨今において、指先を使った遊び「おりがみ」が、子どもたちの遊びの一つに加わることを願って製作されている。

この運動に対し、12月20日、今津寛介旭川市長から植平理事長に対して感謝状が贈られた。



左から坂野専務理事、今津旭川市長、植平理事長、利根川事業委員長、山田副理事長

業 界 の う ご き

▶東洋インキ(株)北海道営業部長に森田稔氏

東洋インキ株式会社東日本営業本部北海道営業部（札幌市西区西町南11丁目1-36）は、このたび、輪島耕介部長に代わって、森田稔氏が新しく部長に就任した。

▶キャノンマーケティングジャパン(株)札幌支店長に中西均氏

キャノンマーケティングジャパン株式会社札幌支店（札幌市中央区北3条西4丁目1-1 日本生命札幌ビル）は、このたび、小田裕之支店長に代わって、中西均氏が新しく支店長に就任した。

▶株式会社Too札幌オフィスマネージャーに木村良美氏

株式会社Too札幌オフィス（札幌市中央区大通西8丁目2-30 レジディア大通西1F）は、このたび、外山雅佳マネージャーに代わって、木村良美氏が新しくマネージャー就任した。

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>